

冬でも元気な鳥たちを求めて

(11月～2月撮影)

福田の地にも、寒くなると活発に飛び回る冬鳥が多くやってきます。ときには、とても珍しい鳥も見ることができます。冬の季節には、鳥のさえずりが澄んで聞こえるような気がするのですが、気のせいでしょうか。

写真は住宅地や里山、または公園（緑化センター）に出かけて撮った中からチョイス。まだまだ多くの種類の鳥がいますが、いざとなるとなかなか撮れません。なお、この中には、冬に限らず他の季節でも見られる鳥もいます。



▲ ヤマガラ（留鳥・漂鳥）
冬になると山から下りてくる。



▲ アトリ（冬鳥）
たまに山手で見かける。シベリアから朝鮮半島を経てやってくる。



▲ ジョウビタキ・雄 (冬鳥)

冬になるとごく普通に見られるが、越冬後にはシベリアなどに帰っていく。



▲ ジョウビタキ・雌 (冬鳥)

雄・雌ともに、羽の白い紋が特徴である。



▲ ヒレンジャク (渡り鳥)

シベリア東部・中国北東部辺りで繁殖する。ほとんど見ることがない。
2011年1月13日、観音原団地内で初めて見た。



▲ コゲラ (留鳥)

日本に広く分布するが、寒冷地に生息する個体は、冬になると暖かい地域に移動するものもいる。

福田では秋や春などでもよく見かける。



▲ シジュウカラ (留鳥)

年中よく見かける鳥だが、冬鳥として扱われることもある。



ルリビタキ・雄



▲ ルリビタキ・雄 (漂鳥)

本州や四国の高山の林で繁殖し、冬季にやって来るとてもきれいな色をしている鳥。



▲ ルリビタキ・雌 (漂鳥)

雄・雌ともに、羽の白い紋が特徴である。



▲ ツグミ (渡り鳥)

この鳥も冬鳥とするが、他の季節でもよくみかける



▲ **ビンズイ**（漂鳥）
ルリビタキと同じような移動をする。

<参考>

漂鳥＝繁殖地から越冬地へと国内を移動する。

留鳥＝年中、生息場所が同じである。

渡り鳥＝国外などから定期的に長い距離を移動してくる

冬鳥＝渡り鳥の一つで、主に冬にやってくる。

赤木通信員